

名前

1. 経済特区 2. 持続可能な開発目標 3. 自由貿易協定 4. ブロック経済

1. 乾燥帯を流れる外来河川であり、灌漑農業によって綿花の栽培が盛んに行われている。

2. 季節によって流量の変化が激しく、冬には広範囲で河川が凍結する。

3. 河口付近に巨大なデルタ（三角州）が形成されており、古くから古代文明が発展した。

4. 赤道付近に位置し、多量の降水があるため、世界最大の流域面積を有している。

1. 北米のサンベルトから多くの工場が移転してきたことにより、大規模な工業用地の整備が必要となったため

2. 先端技術産業を誘致するために、アマゾン流域の全域を工業専用の経済特区に指定したため

3. 人口の急増に伴い、食料を確保するための伝統的な遊牧の範囲が森林の奥深くまで拡大したため

4. 経済発展を目的とした道路建設や、牛の放牧地・農地を拡大するための開発が進められたため

1. イギリスからの経済援助を受けるための条件として、国旗に意匠を残すことが義務付けられているため

2. かつてイギリスの植民地であり、独立後もイギリス連邦の一員として歴史的なつながりを維持しているため

3. 第二次世界大戦においてイギリスと同盟を結び、その勝利を記念して意匠を統一したため

4. イギリスを文化的な理想国家として掲げ、19世紀後半に国民投票によってこのデザインが採択されたため

1. 肥沃な平原であるパンパにおいて、資本を投入した大規模な経営による牧畜や穀物生産が行われている。
2. アマゾン川流域の熱帯雨林を切り開き、輸出用のサトウキビを栽培するモノカルチャー経済が主流である。
3. 沿岸部の乾燥地帯において、わずかな降水を利用した小規模な羊の放牧と果樹栽培が行われている。
4. アンデス山脈の厳しい自然環境に対応するため、ジャガイモやトウモロコシの自給的な栽培が中心となっている。

1. オーストラリアの面積は日本の約20倍と非常に広大であり、南半球に位置するため日本とは季節が逆になる。
2. オーストラリアは日本と同じく北半球の中緯度帯に位置しており、面積は北海道と同じ程度である。
3. オーストラリアはイギリスとほぼ同等の面積を持ち、気候や先住民政策においてもイギリスと共通した特徴を持っている。
4. オーストラリアは国土の大部分が北極圏に含まれているため、アボリジニなどの先住民は寒さに適応した生活を送っている。

1. 東南アジア諸国連合（ASEAN）との貿易が中心となり、米や茶などの食料品の輸出が拡大している。
2. アメリカ合衆国が最大の輸出相手国となり、自動車や電子部品などの工業製品の輸出を急激に伸ばしている。
3. 日本が最大の輸出相手国となり、現在もかつてと同様に羊毛や小麦などの農産物を中心に輸出している。
4. 中国が最大の輸出相手国となり、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出額の多くを占めるようになっている。

1. 標高が高くなるほど気温が上がる性質を利用して、山頂に近いほど熱帯由来の作物が栽培されている。	2. 北アメリカのロッキー山脈と同じように、ふもとから山頂付近まで貫して広大な小麦畑が広がっている。	3. 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリヤマやアルパカの放牧が行われている。	4. 標高3,000メートルを超える寒冷な地域では、トウモロコシの栽培が最も盛んに行われている。
---	--	---	--

1. アマゾン川流域の気候は大規模農業に適さないため、現在は森林の保護と植林が急速に進んでいる。
2. 現地の住民が食べるための米や芋を育てる自給用農業の拡大が、森林減少の最大の原因である。
3. 世界的な食料需要の高まりを受け、輸出用の大豆を栽培するための大規模な森林伐採が行われている。
4. 標高の高い地域に適したコーヒーの農園を拡大するため、低地の熱帯雨林が広範囲に伐採されている。

1. イヌイット 2. インディオ 3. マオリ 4. アボリジニ

1. 大陸の最南端付近は南緯50度程度の高緯度に位置しており、北半球のアメリカ・カナダ国境付近と同程度の緯度まで陸地が広がっている。
2. 大陸の最南端付近は赤道に極めて近いため、年間を通じて高温多湿な熱帯雨林気候が広がっている。
3. 大陸の最南端付近は南緯20度程度であり、熱帯低気圧の影響を強く受ける低緯度地域に含まれる。
4. 大陸の最南端を通過する緯線は、オーストラリア大陸の中央部を通過する南回帰線と同じ緯度である。

1. 液化天然ガス・羊毛・肉類 2. 原油・鉄鉱石・銅鉱 3. 石炭・原油・小麦 4. 石炭・液化天然ガス・鉄鉱石

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ブロック経済	1929年に発生した世界恐慌への対策として、広大な植民地を持つイギリスやフランスなどは、自国と植民地の間で関税を低く抑え、他国の製品を排除する経済圏（ブロック経済）を形成しました。当時、オーストラリアはイギリスの自治領としてこの体制に組み込まれており、イギリスとの政治・経済的な主従関係が非常に強い時期でした。
問2	答え 4 赤道付近に位置し、多量の降水があるため、世界最大の流域面積を有している。	アマゾン川は赤道直下の熱帯雨林気候区を流れており、年間を通じて極めて多い降水量があるため、支流を含めた水の集まる範囲（流域面積）が世界で最も広がっています。乾燥帯を流れる外来河川や古代文明の記述はナイル川などの特徴であり、凍結は高緯度地域の河川に見られる特徴です。
問3	答え 4 経済発展を目的とした道路建設や、牛の放牧地・農地を拡大するための開発が進められたため	ブラジルでは、広大な国土を活用して経済を成長させるため、1970年代以降アマゾン横断道路などの幹線道路の建設が推し進められました。これにより森林の奥深くへのアクセスが可能となり、大規模な木材の伐採や、輸出用の牛肉を生産するための牧場、大豆などを栽培する農地の造成が急速に進行しました。その結果、貴重な生態系を持つ熱帯林が失われ、地球温暖化への影響も懸念されています。
問4	答え 2 かつてイギリスの植民地であり、独立後もイギリス連邦の一員として歴史的なつながりを維持しているため	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であり、1901年に独立してからもイギリスを君主とする「イギリス連邦（コモンウェルス）」の一員としての地位を保っています。国旗に描かれたユニオンジャックは、宗主国であったイギリスとの深い結びつきを象徴しており、現在も国家のアイデンティティの一部となっています。このように、かつての宗主国の旗を自国の国旗の一部に取り入れている国は、ニュージーランドやフィジーなどオセアニアの他の国々にも見られます。
問5	答え 1 肥沃な平原であるパンパにおいて、資本を投入した大規模な経営による牧畜や穀物生産が行われている。	アルゼンチンの農業は、広大な平原「パンパ」を舞台とした企業の農業が特徴です。かつては牧畜が中心でしたが、冷凍船の普及や世界の需要の変化に伴い、小麦や大豆などの穀物生産も拡大しました。これらは家族経営のような小規模なものではなく、広大な土地に資本を投じた大規模な形態で行われており、世界有数の農畜産物輸出地域となっています。
問6	答え 1 オーストラリアの面積は日本の約20倍と非常に広大であり、南半球に位置するため日本とは季節が逆になる。	オーストラリアは日本の約20倍の広大な面積を持つ国です。南半球に位置しているため、北半球にある日本とは季節が正反対になります。また、先住民はアボリジニであり、寒冷な北極圏ではなく、乾燥帯や温帯が広がる地域に位置しています。イギリスの面積は日本よりやや小さいため、面積の比較においても誤りを含まないこの選択肢が正解となります。
問7	答え 4 中国が最大の輸出相手国となり、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出額の多くを占めるようになっている。	オーストラリアは、歴史的に関係の深かったイギリスとの貿易から、地理的に近く経済成長の著しいアジア諸国との貿易へとシフトしました。特に中国が最大の貿易相手国となっており、品目もかつての羊毛や小麦といった農産物から、中国の工業化を支える鉄鉱石や石炭といった鉱産資源へと主力商品が移り変わっています。この背景には、アジア諸国におけるエネルギー需要や鉄鋼生産の拡大があります。
問8	答え 3 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリャマやアルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈では、標高が上がるにつれて気温が下がる気候特性に合わせた「高度別農業」が行われています。標高3,000メートル以上の高冷地ではジャガイモが栽培され、さらに厳しい環境となる4,000メートル以上の地域では、家畜であるリャマやアルパカの放牧に頼る生活様式が見られます。ロッキー山脈は北アメリカに位置する山脈であり、アンデスの特徴とは異なります。
問9	答え 3 世界的な食料需要の高まりを受け、輸出用の大豆を栽培するための大規模な森林伐採が行われている。	アマゾン川流域における森林破壊は、単なる地元の食料確保ではなく、国際市場に向けた輸出用作物の栽培や、肉牛の放牧地の確保といった経済的な理由が背景にあります。特に大豆は、家畜の飼料などとして中国やヨーロッパなどに大量に輸出されており、経済発展と環境保護の両立が大きな国際的課題となっています。
問10	答え 4 アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民はアボリジニである。選択肢のマオリはニュージーランドの先住民であり、地理的に近い混同しやすいが明確に区別する必要がある。なお、インディオは中南米、イヌイットは北極海沿岸などの寒冷地域に住む人々を指す。
問11	答え 1 大陸の最南端付近は南緯50度程度の高緯度に位置しており、北半球のアメリカ・カナダ国境付近と同程度の緯度まで陸地が広がっている。	南アメリカ大陸は南北に非常に長く、大陸北部に赤道が通る一方で、南端は南緯50度付近という高緯度に達します。北半球においてこれに近い緯度（北緯49度）はアメリカ合衆国とカナダの国境線にあたり、南半球の陸地が北半球の主要な国々に匹敵する高い緯度まで存在していることが地理的な特徴となっています。
問12	答え 4 石炭・液化天然ガス・鉄鉱石	オーストラリアは広大な国土に豊富な鉱物資源を有しており、日本にとって最大の資源供給国の一つです。2016年の統計では、発電や製鉄の原料となる石炭が第1位、次いで火力発電の燃料となる液化天然ガス（LNG）が第2位、鉄鋼業に欠かせない鉄鉱石が第3位となっており、これら上位3品目だけで日本のエネルギーや重工業を支える重要な役割を果たしています。